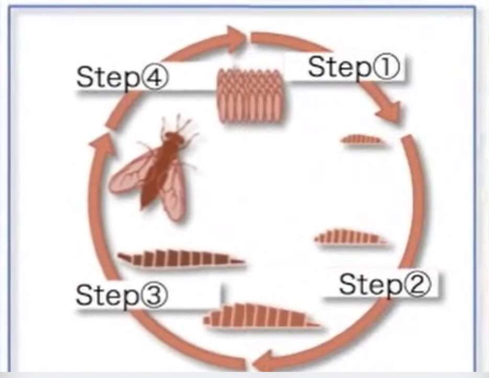
2019 年 7 月 発行

AAI NEWS

アジア･アフリカ リサーチ ＆ コンサルティング インベストメント

Black Soldier Fly プロジェクト 着実に進行中！

A-WING グループの PT. Biomagg Sinergi International（以下 BSI と略記）が手掛ける、BSF(Black Soldier fly)プロジェクトは、現地の会社や政府機関の協力のもと、国内各地で雇用を生みながら着実に進められている。生ごみ処理問題解決のために、社会貢献とビジネスの両面から考えられた画期的なプロジェクトとして、インドネシアを起点として、バングラデシュなどその他東南アジアも視野に入れた計画が実行中である。



収集した生ごみは、小さな幼虫にとって食べやすいように破砕される。①破砕された餌の上に目の細かい網を置き、そこに BSF の卵を置いて 3 日程度でふ化させる。ふ化して餌の上に落ちてくる幼虫は、小さな口でその餌を元気に食べ始める。②その後約三週間、たくさんの餌を食べ、たくさんの栄養素を体に蓄え、貴重な老廃物を排出する。③さらに約 2 週間、蛹へと変化していく。この期間は餌を食べることはなく、成虫になるため栄養分を凝縮していき、良質なタンパク質を多く蓄えた蛹となる。④成虫になった BSF の命は 1 週間から 10 日間程度であり、餌も食べずに卵を産んで死に絶えていく。

このように、処理に困っていた生ごみから「BSF の蛹」と「幼虫の老廃物」が得られ、それらは、「有用な良質なタンパク質」と「高品質な有機肥料」となる。さらに、良質なタンパク質からはアミノ酸が抽出でき、化粧品や医療薬品への応用も可能であり、大きなビジネスにも繋がっていく。現在、プロジェクトチームは、BSF の蛹から様々な動物の餌を作り、それがどれだけの優位性があるか、または幼虫の老廃物から有機肥料を作り、土壌にどの程度の割合で混ぜるのがベストかなど、さまざまな検証を独自で行っている。

BSI のミッションとは、国連で採択された SDGs；持続可能な開発目標をターゲットに盛り込み、東南アジアの生ごみ処理問題を解決することである。インドネシア国内でインドネシア人自らの手で生ごみ処理問題をビジネスにしながら解決し、さらにそのノウハウをバングラデシュのような後進国にも転用していくことで、同様に困っている世界の人たちのためにも役立てることが、BSI のビジョンである。

多くの国の生ごみ処理問題の解決に向け、これからも果敢に挑戦を続けて参ります。私たちの **BSI** の取組みに是非お力添えをお願い申し上げます。

【お問い合わせ】
AAI 株式会社 （アジア・アフリカ リサーチ＆コンサルティング インベストメント）
〒830-0018 福岡県久留米市通町 356-1 ジャムビル 2F
URL：http://www.aai-jp.com TEL：0942-39-8780 FAX：0942-65-8857
発行責任者 ： 中村 廣秀 担当者 ： 村田 清一郎 **E-mail：info@aai-jp.com**